

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法・作業療法学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法		講義	
科 目 名	人間発達学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2)	時間(単位)	
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室		
担 当 教 員	井上潤一	実務経験と その関連資 格	理学療法士(実務経験33年)					
《授業科目における学習内容》								
各発達時期(乳児期・幼児期・児童期・青年期・成人期・老年期)の特徴的な発達を学びます。また障がい児の発達も合わせて学習します。学んだ知識をどのように理学療法、作業療法の臨床に生かすことが出来るか・具体的な例を提示したいと思います。								
《成績評価の方法と基準》								
定期試験(中間・期末):70% レポート10% 平常点20%								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
生涯人間発達学(上田礼子著)三輪書店								
《授業外における学習方法》								
ノートを書くのではなく、配付資料を参考にして授業に集中してください。覚えるだけで無く、考えること、気づくことが大切です。学んだ知識をどのように生かすかを毎回の授業で考えてください。								
《履修に当たっての留意点》								
私たちは、プロを目指す集団です。受け身の学習ではいけません。積極的、強気で授業を受けてください。								
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容			
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の発達・生涯について大まかなアウトラインを学びます。	教科書・プリント				【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	本授業の流れを説明し、『発達』とは何かを学びます。					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達理論、発達の見方が説明できる。生涯発達の研究方法を学びます。	教科書・プリント				【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	発達の理論、見方を学ぶ。生涯発達の研究方法を伝え、学会発表など研究論文を作成する時に応用出来るように伝える。					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達と遺伝について説明できる。	教科書・プリント				【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	発達は、遺伝的な要素と環境的な要素で決定される。とくに環境的な要素が心身共に発達に影響を及ぼす。その重要性を伝える。					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間が誕生するまでの受精から出産までの過程や胎児にかかるリスク要因を理解し、説明できる。	教科書・プリント				【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	人間の出生について、受精から誕生までの過程を発生学を交えて学ぶ。新生児期の両親の心理状態も合わせて伝える。					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	新生児期・乳児期の特徴を理解する。原子反射の種類、消失時期について説明、理解出来る。	教科書・プリント				【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	新生児の身体的特徴、評価法、原子反射について学ぶ。					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳児期・幼児期前期の身体の発達、認知の発達・言語の発達について理解し、説明できる。	教科書・プリント	【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	乳児期、幼児期の発達を学び、臨床にどのように応用するか説明する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	ピアジェの乳幼児期(前期)の感覚、運動認知の発達が理解でき、説明できる。	教科書・プリント	【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	乳児期、幼児期の発達を学び、臨床にどのように応用するか説明する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	幼児期(後期)の身体、認知・情緒の発達を理解する、発達評価も合わせて理解し説明できる。	教科書・プリント	【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	幼児期の発達を理解して、臨床にどのように応用するか説明する。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	幼児期から学童期の身体的発達、運動、認知的発達について説明できる。	教科書・プリント	【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	中間試験		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	学童期における知能、認知、社会性を身につける過程を説明できる。	教科書・プリント	【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	学童期の知能、認知、社会性の発達について学び、臨床にどのように応用するか説明する。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	肢体不自由児の発達、特徴、どのように介入していくのか理解し、説明できる。	教科書・プリント	【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	肢体不自由児に対してどのように介入していくか、理学療法士、作業療法士として具体的な介入方法を伝える。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障害、自閉症、軽度発達障害の症状や介入について説明できる。	教科書・プリント	【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	知的障害を中心にとどのように介入していくか、理学療法士、作業療法士として具体的な介入方法を伝える。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	青年期(12歳～20歳)についての身体的特徴、心理的特徴、について説明できる。	教科書・プリント	【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	青年期の発達について学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人期(20代～50代)の発達過程や衰えについて理解し説明できる。	教科書・プリント	【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	成人期から老年期にかけての発達について学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期における死と死の受容について理解でき、理学療法士、作業療法士としてどのようなサポートが出来るか考える事が出来る。	教科書・プリント	【事前学習】シラバス・教科書を読んでおく 【事後学習】今回の授業の復習し、誰でも良いので必ずアウトプットする
		各コマにおける授業予定	死とその受容について学ぶ。		